

2024 年度 CRISIIS プログラム参加報告書



CRISIIS プログラムを通して、アメリカにあるマンケート校の学生と共に「家族など身近な人が亡くなった時にどのようにその悲しみを乗り越えるか」について考えました。日本では葬式や通夜などを通して、家族や親しい友人などの身近な人と寄り添い、悲しみを乗り越えていく傾向があるが、アメリカでは家族や友人の他に様々なコミュニティに支援を求める傾向があることがわかりました。このプログラムを通して、日本と海外での考えや価値観の違いや共通点について知ることができました。将来看護師として様々な人と関わっていく上で、良い経験をすることができました。近年、国際交流が身近になってきているため、今回の経験を活かしたいと感じました。

2 年生 河野 奈菜世